

第八十一回
帝國議會
貴族院

農業保險法中改正法律案特別委員會會議事速記録第三號

昭和十八年二月十五日(月曜日)午後一時
四十七分開會

○委員長(伯爵黒木三次君) デハ是ヨリ委員會ヲ開會致シマス、初メニ私カラ議事進行ニ付テ皆サシニ御諮リ致シタイト存ズル

ノデゴザイマス、ソレハ今迄ノ大體ノ御質問ニ於キマシテ、政府ノ低物價政策堅持ト云フコトハ明確ニサレタヤウニ思フノデアリマスカラ、此ノ三法案ノ改正ノ要點ニ付キマシテ、此處ニ農政局長モ居ラレマスルカラ、農政局長カラ詳シク承ツテ、ソレニ付テ議事ヲ進行シタ方ガ進行度ガ早イト斯様ニ思ヒマスノデ、左様取計ラハウト思ヒマス、御異議ゴザイマスマイカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵黒木三次君) 御異議ゴザイマセスケレバ、サウ云フ風ニ取計フコトニ致シマス

○政府委員(石井英之助君) ソレデハ此ノ三案ノ内容ニ付キマシテ、私カラ御説明ヲ申上ゲタイト思ヒマス、大體ノ趣旨ニ付キマシテハ先日大臣カラ御説明ガゴザイマシタノデ、私カラハ逐條ニ入リマシテ、大體ノ要點ヲ御説明申上ゲタイト思ヒマス、第一ハ農業保險法中改正法律案デアリマシガ、此ノ改正ノ要點ノ第一ハ第一條ノ改正デアリマス、此ノ改正ハ此ノ農業保險制度ノ實施ニ當リマシテ、此ノ改正ヲ機會ニ全市町村農會ガ農業共濟保險制度ニ參加シテ全農民ノ總協力ノ體制ヲ整ヘテ參リタイト云フコトガ、豫テカラノ農業團體ノ方ノ要望デモゴザイマスルノデ、其ノ邊ノ事情モ

考ヘマシテ制度改正ヲ機會トシテ、所謂強制加入制度ノ途ヲ拓クコトニ致シタノデアリマス、勿論實際ノ取扱ト致シマシテハ、出來得ル限り指導ノ手段ニ依リマシテ、全市町村農會ノ農業共濟保險制度參加ト云フ實ヲ舉ゲテ參リタイト考ヘテ居リマスケレドモ、特ニ實情カラ申シマシテ、強制ノスル必要ガアルト云フ場合ニ限ツテ、此ノ制度ノ適用ヲ致シタイト云フ考デアルノデアリマス、其ノ所謂強制加入ノ措置ヲ第一條ノ改正ニ依ッテ規定ヲ致シタノデアリマス、此ノ法文ニゴザイマスヤウニ、行政官廳特ニ必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依ッテ市農會又ハ町村農會ニ對シテ共濟事業ヲ行フベキコトヲ命ズルコトガ出來ルト云フコトニ致シタアルノデアリマス、此ノ強制命令ヲ致シマスル共濟事業ハ、第一條ニ規定シテアリマスル共濟事業デアリマシテ、農業保險ノ對象トナルベキ共濟事業ニ對シテ此ノ強制ノ命令ヲ爲シ得ル、斯ウ云フコトニ考ヘテ居ルノデアリマス、第二項ニ於キマシテ此ノ命令ヲ出シマシテモ、尙且此ノ共濟事業ノ實施ニ必要ナル手續ヲ取り進メナイ場合ニ於テ最後ノ締メ括リトシテ、共濟事業ヲ實際問題トシテ實行シ得ルヤウナ處分モ爲シ得ルト云フ規定ヲ置イタルノデアリマス、其ノ實際ノ運用ハ市農會又ハ町村農會ニシテ共濟事業ヲ爲スコトヲ命ゼラレタモノガ、其ノ命ニ應ジテ手續ヲ取りマセヌ場合ニ於テハ、行政官廳ニ於テ共濟規定ヲ作成ヲ致シテ、サウシテ其ノ規定ニ基キ共濟事業開始ノ日ヲ定メテ之

ヲ告示スルコト云フ手續ヲ執ルコトニ考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ措置ニ依リマシテ當該市農會又ハ町村農會ハ自動的ニ共濟事業ノ開始ト云フコトガ始マル、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、法制上ノ問題ト致シマシテハ、總會ノ決議ニ依ッテ共濟規定ヲ作成スルコトニ依リマシテ、共濟事業ノ開始ガ始マルノデアリマスガ、此ノ第二項ノ規定ニ依リマシテ、行政官廳ガ共濟規定ヲ作成ヲシテ、其ノ事業開始ノ日ヲ定メルト云フコトニ依ッテ形成的ニ其ノ效果ヲ發生セシメルト、斯ウ云フ趣旨デアルノデアリマス、ソレカラ第二條ノ改正、是ハ條文ノ整理デアリマス、ソレカラ其ノ次ノ項ノ第十五條以下ノ條文ノ整理モ、是ハ單ナル條文ノ整理デアリマス、ソレカラ次ハ第五十六條ノ改正規定デアリマスガ、是ハ先般大臣カラモ御説明ノゴザイマシタ通り、水稻、麥、桑ニ付キマシテ、ソレノ段當リノ保險金額ヲ引上ゲマス、此ノ保險金額ノ引上ヲ致シ、又被害程度別ノ支拂割合ト云フモノヲ改訂致シマスルコトニ依ッテ當然ニ純保險料ト云フモノハ増高致スノデアリマスガ、其ノ増高ヲ致シマスル保險料ニ付テハ、國庫ガ純保險料ノ一部負擔ヲスルト、之ニ依リマシテ農家ノ負擔ノ増ト云フモノヲ出來得ル限り少ク致シマシテ、サウシテ此ノ保險ノ效果ヲ農家ニ及サウト、斯ウ云フコトニ致シタノデアリマスガ、其ノ國庫負擔金ノ負擔ノ關係ヲ此ノ五十六條ノ第一項ニ依ッテ明瞭ニ致シテ居ルノデアリマス、此ノ條文ニ依リマシテ、國庫ハ農業

保險、組合ノ組合員ノ支拂フベキ保險料ノ一部ト云フモノヲ負擔スルノデアルト云フコトヲ先ヅ第一ニ明カニ致シテ居リマス、ソレカラ次ハ三十三條第一項ノ規定ニ依ッテ、農業保險組合ガ水稻ノ冷害ニ付テ組合員ニ、對シテ共濟金ノ交付ヲ爲ス事業ヲ行フ場合ニ於キマシテハ、其ノ農業保險組合ノ組合員ガ贖出スベキ共濟掛金ノ一部ヲ是亦國庫ニ於テ負擔スルノデアル、此ノ二ツノ事柄ヲ明瞭ニ致シテ居ルノデアリマス、ソレカラ次ハ、日本蠶絲統制株式會社ノ桑ノ保險ニ付テ、農業保險組合ノ組合員ノ支拂フベキ保險料ノ一部ヲ負擔スルコト云フ趣旨ヲ以テ國庫ニ納付金ヲ爲スト云フコトヲ法律ニ依ッテ統制會社ニ義務付ケタノデアリマス、此ノ規定ニ依リマシテ日本蠶絲統制株式會社ガ負擔ヲ致シマスル國庫納付金ト云フモノハ、本來課稅ノ對象ト致スベキモノデアリコトハ勿論デアリマスルガ、此ノ稅法ノ關係ニ於キマシテハ其ノ點ヲ明確ニスル必要ガゴザイマスルノデ、此ノ第三項ヲ置キマシテ、課稅ノ關係ニ於テハ此ノ納付金ト云フモノハ損金ニ算入ヲスルト云フコトヲ明カニ致シタノデアリマス、尙此ノ機會ニ於キマシテ、國庫ノ保險料負擔ト云フモノハ、如何ナル程度ニ達スルカト云フ大凡ソノ見當ニ付テ御説明ヲ申上ゲテ置キタイト思フノデアリマス、今回ノ保險金ノ引上ハ、水稻ニ付マシテハ段當二十圓デアリマシタモノヲ四十五圓ニ致シ、ソレカラ麥ニ付マシテハ段當十圓デアルモノヲ二十五圓ニ引上ゲ、ソレカラ桑ニ付

キマシテハ段當リ二十圓ノモノヲ二十圓ニ引上ゲル、斯ウ云フコトニ致シテ居ルノデアリマス、ソレカラ被害ノ程度ニ應ジマスル保險金ノ支拂割合ト云フモノハ、從來保險料ヲ成ルベク高クシナイト云フ考慮ノ下ニ、危險ノ起ル率ノ多イ部分、詰リ三割カラ六割程度ノモノノ被害ガアリマシタ場合ノ保險金ノ支拂額ト云フモノヲ比較的低ク定メテアツタノデアリマス、ソレヲ今回ノ改正ニ當リマシテハ、危險ノ頻度ノ多イ被害ニ對シマシテモ、其ノ被害程度ニ應ジタヤウナ保險金ノ支拂ヲ爲シ得ルヤウニシヨウト云フノデ、其ノ割合ヲ改訂スルコトニ致シテ居ルノデアリマス、此ノ二ツノ理由ニ依リマシテ純保險料ノ額ト云フモノガ増嵩スルノデアリマスカラ、今回ノ此ノ改正ヲ全市町村農會ガ其ノ通り實行スルト假定ヲ致シマシテ、大凡ソノ見當ヲ付ケテ見マスルト、純保險料ノ増額ト云フモノガ四千四百九十五萬圓ト云フコトニナルノデアリマス、是ハ勿論改正法ガ施行ニナリマシテカラ實行ニ移シマスルト、ソレハ郡ノ危險率、町村ノ危險率ト云フモノニ應ジマシテ、多少ノ變動ヲ生ズルコトハ勿論デアリマスカラ、實行ノ結果果シテドノ程度ニナルカト云フコトハ、勿論此ノ際ハ不明デアリマス、唯大凡ノ推定トシテ、以上申上ゲタ四千四百九十五萬圓ノ程度ニ達スルデアラウト、斯ウ見テ居ルノデアリマス、此ノ内國庫負擔金ト云フモノガドレダケニナルカト云フ推定ヲ致シマスルト、是ガ二千二百五十八萬圓ニナルノデアリマス、約半額ガ國庫負擔金、斯ウ云フコトニ相成ルノデアリマス、此ノ國庫負擔金ノ内桑ニ付キマシテハ、只今御説明申上ゲマシタヤウナ

關係カラ、日本蠶絲統制株式會社ガ一部ヲ負擔ヲ致シマス、其ノ日本蠶絲統制株式會社ノ負擔ヲ致シマス分ハ約百萬圓デアリマス、從ヒマシテ、純國庫ノ負擔ト云フモノハ、二千二百五十八萬圓ト云フ見當ニ相成ルノデアリマス、ソレカラ水稻ノ冷害ニ付テハ大凡ノ見込ヲ申上ゲマスルト、水稻ノ冷害ニ付キマシテハ、是ハ現在ハ段當十圓ト云フコトデ實行ヲ致シテ居ルノデアリマス、此ノ段當十圓ノ共濟掛金ヲ段當二十五圓ニ引上ゲル、ソレカラ被害程度ニ應ジマシタ保險金ノ支拂割合ト云フモノヲ、保險ニ於テ申シマシタト同様ニ改訂ヲ致スノデアリマス、其ノ結果共濟掛金ト云フモノハ相當ニ増加致シテ參リマス、其ノ總額ハ數字ニ於キマシテ六百五十七萬圓ニ相成ルノデアリマス、此ノ六百五十七萬圓ノ内、國庫ニ於テ負擔ヲ致シマスル分ハ、三百二十八萬圓ト云フコトニ相成ルノデアリマス、是モ五割以上ノ部分ヲ國庫ニ於テ負擔スルト云フ結果ニ相成ルノデアリマス、是モ保險ニ於キマスルト同様ノ推定デゴザイマスカラ、左様ナ意味デ御聽取ヲ願ヒタイノデアリマス、ソレカラ總額ニ於キマシテ以上ノヤウナ國庫負擔ヲ致スノデアリマスガ、現實ノ問題トシテ如何ナル方法ニ依ツテ國庫負擔金ヲ決メテ參ルカ、斯ウ云フ點ヲ次ニ御説明ヲ申上ゲタイト思ヒマス、此ノ純保險料ノ國庫負擔ノヤリ方ハ、超過累進的ニ實行スルコトニ致シテ居ルノデアリマス、詰リ各組合ニ付キマシテハ、純保險料ノ高イモノニ付テハ國庫ノ負擔割合ヲ多クスル、低イモノニ付テハ比較的國庫ノ負擔ノ割合ヲ低クスル、斯ウ云フ方法ヲ採ルコトニ致シタノデアリマス、具體的ニ例ヲ申上ゲマスルト、水稻ノ保

險段當四十五圓ノ保險金額ニ對シマシテ、純保險料ノ額ガ三十錢迄ノ部分ニ付テハ國庫ガ三分ノ一ヲ負擔スル、三十錢ヲ超エテ五十錢迄ノ部分ニ付テハ二分ノ一ヲ國庫ガ負擔スル、五十錢ヲ超エテ部分ニ付キマシテハ國庫ガ三分ノ二ヲ負擔スル、斯ウ云フ風ニ超過累進的ニ國庫負擔金ノ額ヲ定メルト云フ方法ヲ採ルコトニ致シタノデアリマス、麥ニ付キマシテハ、水稻ノ場合ニ準ジテ此ノ段階ヲ決メテゴザイマスルガ、六錢迄ノ部分ニ付テハ國庫負擔ガ三分ノ一、六錢カラ十錢迄ノ部分ニ付テハ二分ノ一、十錢ヲ超エル部分ニ付テハ三分ノ二ト云フ風ニ國庫負擔ヲ致スノデアリマス、ソレカラ桑ニ付キマシテハ、十四錢迄ノ部分ニ付テハ三分ノ一國庫負擔、十四錢ヲ超エテ二十四錢迄ノ部分ニ付テハ二分ノ一負擔、二十四錢ヲ超エル部分ニ付テハ三分ノ二國庫負擔ト云フ風ニ、負擔ノ方法ヲ決メテ居ルノデアリマス、之ヲ適用致シマシテ推定致シマシタ總額ガ、今申上ゲタ金額ニ達スルノデアリマス、以上ガ大體農業保險法中改正法律案ノ要點デアルノデアリマス、次ハ農業保險ノ保險料國庫負擔金等ノ交付及分擔等ニ關スル法律案ノ御説明ヲ申上ゲタイト思ヒマス、此ノ法律案ハ國庫負擔金ノ性質竝ニ其ノ國庫内ニ於ケル分擔ノ組織、ソレカラ此ノ分擔金ノ受入、拂出ノ關係ト云フモノヲ、明確ニ致ス爲ニ制定ヲ要スル法律案ナノデアリマス、此ノ第一條ノ第一項ハ、先ヅ農業保險ノ保險料國庫負擔金ト云フモノハ、農業保險組合ノ組合員ノ爲ニ組合ニ交付スルモノデアアル、斯ウ云フ趣旨ヲ明カニ致シタノデアリマス、第二項ニ於キマシテハ、此ノ第一項ノ趣旨カラ申シマスルト、

此ノ國庫負擔金ノ全部ハ一應農業保險組合ニ之ヲ交付スルコトニ相成ルノデアリマスケレドモ、純保險料ニ付キマシテハ、申ス迄モナク一部ハ農業保險組合聯合會ニ再保險料トシテ出シ、ソレカラ更ニ一部ハ政府ノ再々保險ノ保險料ニ納付スルト云フコトニ相成ル譯デアリマスルカラ、手續ヲ簡易ニ致シマス爲ニ、此ノ國庫負擔金ト云フモノハ本來農業保險組合ニ交付スベキモノデアルケレドモ、其ノ一部ヲ農業保險組合聯合會ニ交付シ、又ハ農業再保險特別會計ニ直接之ヲ繰入レルコトガ出來ルト云フコトニ、簡易ニ致ス爲ノ手續ヲ規定致シテ居ルノデアリマス、第三項ハ、水稻ノ冷害共濟事業ノ共濟掛金ニ對スル國庫負擔金ト云フモノモ、保險料ノ國庫負擔金ト同様ニ、此ノ事業ヲ行フ農業保險組合ノ組合員ノ爲ニ組合ニ之ヲ交付スルモノデアルト云フコトヲ明カニ致シテ居ルノデアリマス、水稻ノ冷害共濟事業ニ付キマシテハ、再保險ノ制度ガゴザイマセス、從ツテ國ノ再々保險ノ制度モナイノデアリマスカラ、是ハ總テ農業保險組合ニ國庫負擔金ヲ交付スルト云フコトニ相成ルノデアリマスカラ、保險ノ場合ニ於ケルガ如キ規定ヲ必要ト致サナイ、斯様ナ關係ニナツテ居ルノデアリマス、ソレカラ第二條ハ、國庫負擔金ノ國庫内ニ於ケル分擔ノ關係ヲ明カニ致シテ居ルノデアリマス、此ノ農業保險ノ保險料ノ國庫負擔金及水稻冷害ノ共濟事業ノ共濟掛金ニ對スル國庫負擔金ハ、一般會計ト食糧管理特別會計ニ於テ之ヲ分擔スルモノデアルト云フコトヲ、會計上ノ必要カラ明カニ致シテ居ルノデアリマス、具體的ノ問題ト致シマシテ、一般會計ノ負擔ニ於テ出ス分ト、食糧管理特別

會計ニ於テ負擔ヲスル分ト、兩方ガ一括サ
レマシテ、先程御説明ヲ申上デマシタヤウ
ナ國庫負擔金トナツテ組合ニ交付サレ、或ハ
聯合會ニ交付サレ、或ハ政府ノ再保險特別
會計ニ繰入ラレル、斯ウ云フ關係ニ相成
ル譯デアリマス、ソレカラ第二條ノ第二項
ハ、此ノ食糧管理特別會計ニ於テ分擔ヲ致
シマスルモノ中、農業保險組合ナリ、農
業保險組合聯合會ナリニ交付セラレルモノ
ハ、之ヲ一旦一般會計ノ歲入ニ繰入レマシ
テ、サウシテ其ノ一般會計ノ歲出トシテ保
險組合ナリ、保險組合聯合會ナリニ交付サ
スル、斯ウ云フコトヲ明カニ致シテ居ルノ
デアリマス、詰リ直接食糧管理特別會計カ
ラ農業保險組合ナリ、保險組合聯合會ナリ
ニ交付スルコト云フコトハシナイデ、總テ一
般會計ヲ通スト云フコトヲ明カニ致シテ居
ルノデアリマス、第三條ハ、日本蠶絲統制
株式會社ノ負擔金ノ關係デアリマス、是ハ
先程御説明申上デマシタ農業保險法中改正
法律案ニ於テ、日本蠶絲統制株式會社ニ對
シテ純保險料ノ一部負擔ノ趣旨ヲ以テ、國
庫ニ納付金ヲ爲スベキ義務ヲ課シテゴザイ
マス、其ノ義務ニ應ジマシテ、日本蠶絲統制
株式會社ガ政府ニ納付スル負擔金ハ一般會
計ヘ之ヲ繰入レル、サウシテソレノ所
ニ一般會計ノ歲出トシテ拂出スルコト云フ
コトヲ明カニ致シテ居ルノデアリマス、此ノ
蠶絲統制株式會社カラ受入レマスル負擔金
ノ交付ニ付キマシテモ、第一條ノ第二項ニ
於テ規定シテアリマスル同様ニ、農業保險
組合ニ對シテ交付スル代リニ、ソレノ
農業保險組合聯合會ニ交付シ、又ハ農業再
保險特別會計ニ繰入レルト云フ手續ノ簡易
ヲ圖ル、斯ウ云フコトヲ規定致シテ居ルノデ

アリマス、以上ハ何レモ保險料並ニ冷害共濟
掛金ノ國庫負擔金ニ關スル會計上ノ性質及
組織ヲ明カニ致ス爲ノ條文デゴザイマス、ソ
レカラ次ハ食糧管理特別會計法中改正法律
案ノ御説明ヲ申上デマスルガ、是ハ全ク手
續上ノ改正ト申シテモ宜シイト考ヘマスガ、
食糧管理特別會計ガ純保險料ノ一部ヲ負擔
シ、又ハ水稻冷害共濟掛金ノ一部ヲ負擔ス
ルコト云フコトニナリマシタ結果トシテ、食糧
管理特別會計ガ農業保險特別會計ヘ對シテ、
繰入ヲ新タニ爲シ得ル途ヲ拓イデ置キマセ
ストソレガ實行出來マセヌノデ、農業再保
險特別會計ヘノ繰入ヲ爲シ得ル途ヲ拓イタ
ノガ、此ノ會計法中改正ノ要點デアリマス、
他ハ農業保險ニ關係ノナイ事項デアリマス
ガ、便宜一括シテ申上デマスルト、御承知ノ
ヤウニ穀物検査ノ關係ガ國營ヲ以テ實施セ
ラル、コトニ相成リマシタノデ、此ノ検査
ニ關シマスル經費ト云フモノハ、食糧管理特
別會計ニ屬スルコトニ相成リマシタノデ、
其ノ關係カラ検査ト云フモノノ第一條ノ中
ニ入レルコトニ致シタノデアリマス、ソレ
カラ第三條中改正ノ點ハ、現在ノ食糧管理
特別會計ノ制度ニ於キマシテハ、米穀其ノ他
ノ食糧農產物ヲ買入レマシタ其ノ代金ト云
フモノハ、直接外國カラ買入レマスル場合
ニ於テハ現金ヲ以テ其ノ支拂ヲ致シマスル
ケレドモ、ソレ以外ノ場合ハ總テ食糧證
券ヲ交付スルコトニ相成ツテ居ルノデア
リマス、處ガ今後臺灣カラ米ヲ買ヒマスル
場合、詰リ臺灣米穀移出管理特別會計カラ
米穀ノ買入ヲ致シマスル必要ガ起ツテ參リ
マスルノデ、此ノ場合ニ於テハ現金デ支拂ヲ
スル必要ガ起ツテ參ルノデアリマス、ソコデ
此ノ將來ノ必要ニ應ジマシテ、臺灣カラ米

ノ買入ヲ致シマスル場合ニ於テモ食糧證券
ニ依ラズシテ、現金ヲ以テ其ノ代金ノ支拂
ヲ爲シ得ルヤウニスルコト云フノガ、第三條
ノ改正ノ趣旨デアリマス、第六條ノ改正ハ
以上申上デマシタコトニ伴フ條文ノ整理デ
アリマス、尙此ノ食糧管理特別會計法ノ改
正法律案ノ附則ニ於キマシテ、農業再保險
特別會計法ノ一部改正ヲ實行致シテ居リマ
スルガ、是ハ農業再保險特別會計ニ於テ
ハ、從來一般會計カラ受入ヲ爲シ得ルコト
ニナツテ居リマスルガ、今回ノ制度改正ニ伴
ヒマシテ、食糧管理特別會計カラ受入ヲ
爲シ得ルコトニスル必要ガゴザイマスルノデ、
手續上ノ問題トシテ食糧管理特別會計カラ
受入ヲ爲シ得ルノ途ヲ拓ク爲ニ、一部改正
ヲスルコトニ相成ツタノデアリマス、大體以
上ガ此ノ三案ノ改正ノ要點デアアルノデアリ
マス、一應以上ヲ以テマシテ三案ノ内容ノ
御説明ト致シタ譯デアリマス

○委員長(伯爵黑木三三君) ドウゾ此ノ三
案ノ、只今石井局長カラノ御説明モゴザイ
マシタカラ、此ノ要點ニ從ツテ審議ヲ進メテ
行キタイト斯様ニ思ヒマスルカラ、ドウゾ
御質疑ノアル方ハナサツテ戴キマス

○子爵土岐章君 是ハ前後シテモ宜シウゴ
ザイマスカ

○委員長(伯爵黑木三三君) 前後シテモ構
ヒマセヌ

○子爵土岐章君 食糧管理特別會計法ノ第
一條ノ貯藏又ハ検査ヲスルコト云フ點デアリ
マスガ、是ハ政府トシテハ定期的ニオヤリ
ニナル御考ナンデスカ

○政府委員(石井英之助君) 此ノ検査ハ現
在穀物検査ト致シマシテ、各府縣ニ於テ米
麥其ノ他ノ主要農產物ニ付テ検査ヲ致シテ

居ルノデアリマス、此ノ販賣ヲ致シマスル
場合ニハ、必ズ縣營ノ検査ヲ受ケタ上デナケ
レバ販賣ガ出來ナイト云フコトニナツテ居
ルノデアリマス、ソレヲ今回米麥ニ付キマ
シテハ此ノ管理體制ニ應ジマシテ、總テノ
モノガ國ニ於テ食糧管理特別會計ニ於テ受
入レルコトニ相成リマスルカラ、ソコデ此ノ
食糧管理特別會計ガ主體トナツテ其ノ検査
ヲ實行スルコトニナル、斯ウ云フコトニ相
成ルノデアリマス、ソレニ應ジタ改正デア
リマシテ、定期的ニドウト云フコトデナシ
ニ、一種ノ受入検査ニ實質ハ相成ル譯デア
リマス

○三井清一郎君 此ノ検査ト云フコトニ關
聯シテ居リマスカラ……

○委員長(伯爵黑木三三君) ドウゾ……

○三井清一郎君 私が聞キ違ヒカモ知レマ
セスカラ間違ッたら直シテ戴キタイノデス
ガ、昨年ノ暮デシタカ、此ノ春早クデシタ
カ、穀物ノ検査料ト云フモノヲ取ラヌコト
ニナツタヤウニ考ヘマス、從來ハ取ツテ居ル、
若シ是ガ、政府ガ此ノ検査料ヲ取ラナイヤ
ウニスル指令ノ前ニ出荷シタ穀物ガアルト
其ノ前ノ所謂十七米穀年度デ納メタ検査料
ヲ縣ニ依ツテハ返ス、又或縣ニ依ツテハ返サ
ナイ、區々ニナツテ居ルヤウニ聞イテ居リマ
スガ、ソレハドウナツテ居リマスカ

○政府委員(石井英之助君) 只今ノ御尋ノ
點ニ付テハ、國トシテ負擔ヲ致シマスルノ
ハ、ア、云フ風ノ決定ガアリマシテカラ後
ノモノニ付テ國ニ於テ負擔ヲスルコト申シマ
スルカ、手數料ヲ徴收シナイト云フコトニ
ナル譯デアリマス、其ノ場合ニ於テ府縣營
ノ場合ニ於テ、検査ヲ受ケテサウシテ手數
料ヲ拂ヒマシタモノニ付テハ、是ハ制度上

カラ申シマスレバ、國ニ於テドウ斯ウスル
ト云フ關係ハ其處ニハ生ジテ參ラナイ譯ナ
ノデアリマス、之ニ付キマシテハ各府縣ニ
於テ、其ノ間ニ行政上何等カノ措置ヲ執ル
方ガ適當デアルト云フ風ニ考ヘテ居ル所モ
ゴザイマス、是等ノ各府縣ニ於テハ府縣ノ
指導ノ下ニ、關係團體ト協議ヲ致シマシテ、
府縣ガ主體トナッテ適當ナル措置ヲ執ル、斯
ウ云フ建前デ現在進ンデ居ルノデアリマス

○三井清一郎君 ツレデハ私ノ仄聞ト聞
違ッテ居リマセス、ソコデ次ハ、既ニ受入レ
ル際ニ貯藏検査、管理特別會計ノ規定ニ依ッ
テ検査スル時ニハ検査料ト云フモノヲ取
ラス、サウ致シマス、昨年ノ新米ガ出來
テカラ直チニ政府ガ新米ヲ供出セシメタ、
此ノ供出シタモノハ各府縣デ検査シテ検査
料ヲ取ッテ、或縣デハ之ヲ返シ、或縣デハ返
サスト云フヤウニ區々ニナッテハドウカト思
ヒマスガ、監督官廳ノ農林省ハ、ソレハ十
八米穀年度ニ關スルモノハ全部免除スルナ
ラスル、縣廳デ返セトカ、何トカ一定スル
譯ニ行カヌノデセウカ

○政府委員(石井英之助君) 實ハ此ノ問題
ハ食糧管理局ノ方ニ於テ御承知ノ通り主管
ヲ致シテ居リマス、ソレデ食糧管理局ノ方
ト連絡ヲ取りマシテ、其ノ點ニ付テノ御説
明ヲ申上ゲルヤウニ取計ラヒタイと思ヒマ
ス

○三井清一郎君 序ニ農村デハ米穀ノ検査
ガ嚴重ニ過ギル、殊ニ三等米ノ如キハ検査
料ヲ出シテ嚴重ナ検査ヲシテ、等外ニナル
ノガ多イト云フコトヲ大分我々聞イテ居ッ
テ、大抵ノモノハ三等ニ合格サシテ行ク爲
ニ、非常ニ農村ガ喜ンデ居ルト云フコトヲ

聞クノデアリマス、是ハ尤モノ次第デアリ
マスガ、唯検査ヲ緩ンシタト云フ意味カ、
或ハ農村ノ精選其ノ他ガ良クナッタカラ自
然等外ガ少クナッタノデアリマス、私ハド
ウモ検査ガ幾ラカ民意ヲ尊重シテ緩和シタ
ノデヤナイカト考ヘルノデスガ、如何デス
カ

○政府委員(石井英之助君) 穀物検査ノ等
級ニ付キマシテハ一昨年デアリマシタカ、
一部ノ銘柄等級ノ整備改正ヲ致シテ居リマ
スカラ、其ノ關係デ從來トノ比較ニ於キマ
シテハ、多少府縣ニ依ッテ差異ヲ生ジテ來テ
居ル所ガアルト考ヘマス、特ニ検査ヲ甘ク
スルトカ、ドウトカ云フ關係ハナイモノト
考ヘテ居リマス

○子爵本多忠晃君 私二三點伺ヒタイと思
ヒマス、保險金額ガ上リマシテ、農民ノ負
擔スル保險料ハ現在ノニ比較致シマシテ大
體ドレ位餘計増加シテ居ルカト云フコトガ
第一、第二點ハ國庫或ハ生産者ガ負擔スル
バカリデナク、主要食糧品ニ付テノ保險料
ハ、一般消費者ニ於テモ或ハ分擔シテ宜イ
ノデヤナイカト云フヤウナ話ガアルヤウニ
聞キマスガ、ソレニ對シテドウ云フ御考ヘ
ヲ御持チニナッテ居リマス、ソレガ第一點、
第三點ハ水稻ノ冷害共濟金デアリマスガ、
此ノ二十五圓ト云フモノハ、今ノ十圓ト云
フノガ元來多少不合理デハナイカ、ソレニ
對シテ將來二十五圓ヲモウ少シ増加スルト
云フ御考ガアルカナイカ、ソレカラ最後
ニ一方ニ於テ保險ノ金額ノ増加ヲナサル
ト云フコトハ非常ニ結構デアリマスガ、此ノ
災害ニ對スル所ノ防禦手段トシテ、例ヘバ
植林ノ補助デアルトカ、砂防工事デアルト
カ、河川改修工事ト云ッタヤウナ災害防禦

工事ヲ今ヨリ一層オヤリニナッテ、サウシテ
是等ノ災害ヲ未然ニ防グト云フヤウナ方面
ニ對シテハ、ドウ云フヤウナ御計畫ヲ持ッ
テ、イラウシヤルカ、此ノ四點ニ付テ伺ヒタ
イと思ヒマス

○政府委員(石井英之助君) 第一點ノ保險
料負擔ノ、生産者ノ保險料負擔額ト云フモ
ノガ、前ト改正後ニ於テドウ云フ關係ガア
ルカト云フ御尋デアリマスガ、是ハ御承知
ノヤウニ各地方、各郡、各村ノ被害率ノ如
何ニ依リマシテ、色々ノ場合ガ出テ參ル譯
デアリマス、今回改正ニ依ッテ實施ヲ致シ
マスル場合ニハ、從來ハ昭和十四年迄ノ率
ヲ取ッテ居リマスモノヲ、今度ハ昭和十五年
迄ノ率ヲ取ルコトニ致シタイト考ヘテ居リ
マス、是ガ現在府縣單位クラキデ、大凡ノ
見當ヲ付ケテ居リマス、具體的
ニハ各町村別ニ其ノ被害率ヲ算定致シマシ
テ、サウシテソレニ基キテ保險料ノ算定ヲ
スルト云フコトニ、具體的ノ手續トシテハ
相成ルノデアリマス、從ッテ現行トノ比較ヲ具
體的ニ出シマスルコトハ、モウ少シ進行致シマ
セスト困難ナ實情ニアルノデアリマス、唯大
凡ノ見當ト致シマシテ、ドノ程度現在ヨリモ
生産者ノ負擔ガ殖エルデアラウカト云フ、
極ク大雜把ナ推定デアリマス、ケレドモ、全
體トシテヤッテ見マスルト、現在ヨリモ生産者
ノ負擔スベキ純保險料ト云フモノハ増加致
シマス、我々ノ方ト致シマシテハ、出來得ル
限り生産者ノ負擔ヲ現在ヨリモ増スコトナ
シニ、今度ノ改正ヲ實行致シタイト云フノ
デ、色々見當ヲ付ケテ參ッテ居リマシタガ、
多少ノ増加ハドウシテモ生ズルモノト、斯ウ
云フ見當デ居リマス、ソレカラ第二ノ點ハ冷
害ノ共濟掛金二十五圓ト云フモノガ、之ガ

増額方ニ付テ考ヘル必要ハナイカト、斯ウ
云フ御尋デゴザイマシタガ、水稻冷害ノ問
題ハ、御承知ノ通り長イ沿革ガゴザイマシ
テ、サウシテ昨年から初メテ此ノ水稻冷
害ニ對スル國家ノ助成ト云フモノガ行ハレ
ルヤウニナッタノデアリマス、ソレハ段
當十圓ト云フモノヲ基準ニ致シマシテ、
サウシテ冷害ガ起ツ場合ニハ、其ノ支拂金
ニ不足ヲ生ジタ場合ニハ、其ノ不足額ノ六
分ノ一ハ國ガ持ツ、ソレカラ六分ノ二ノ借入
金ニ付テハ國ガ全額ノ利子補給ヲシヨウ、
斯ウ云フ極メテ小規模ナ助成ガ實ハ昨年度
カラ實行サレテ居ルノデアリマス、ソレニ
致シマシテモ、水稻冷害ノ共濟掛金ト云フモ
ノハ、實ハ相當ノ額ニナルノデアリマス、
ソレヲ今回改正致シマスル場合ニハ、農業再
生産ノ確保ト云フコトヲ非常ニ強ク考ヘテ
參リマスレバ、段當二十五圓ト云フモノデ
ハ物足りナイト云フコトハ、其ノ通りニ考
ヘルノデアリマス、ケレドモ、之ヲ二十五
圓以上、更ニ引上ゲルト云フコトニナリマ
スルト、當然ニ共濟掛金ノ増嵩ト云フコト
ニナル譯デアリマス、是ハ從來ノ沿革ニ微
シ、又實情ヲ考ヘテ改正スルノガ實情ニ
合フノデヤナイカト云フ意味ニ於テ、今回
ノ改正ニ於テハ段當二十五圓ト云フコトニ
致シタ譯デアリマス、專ラ實際ノ動キトノ
連絡ト云フコトニ重點ヲ置イテ考ヘテ居ル
ノデアリマス、ソレカラ其ノ次ハ保險料負
擔ニ關係致シマシテ、消費者負擔ト云フ考
ヲ採入レタラドウカト、斯ウ云フ御趣旨ニ
承リマシタガ、此ノ點ニ付テハ、今回ノ保
險料國庫負擔ノ一部ヲ食糧管理特別會計ニ
於テ負擔スルト云フコトニ致シテアルノ
デアリマス、消費者負擔ト云フコトヲ

正面カラ取上ゲテ居ル譯デハアリマセヌケレドモ、實際ノ結果ト致シマシテ、將來ノ動キ方如何ニ依リマシテハ、消費者負擔ト云フ率モ上ルト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ災害防止ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ申ス迄モナク災害防除ノ方策ト云フモノニ付テハ、今後最善ノ努力ヲ盡サナケレバナラス問題ダト思フノデアリマス、此ノ災害防除ノ施設ガ漸次進ムコトニ依リマシテ、或程度ハ此ノ保険料ノ輕減ト云フコトモ達成セラレル譯デアリマス、災害ガ起リマシタ場合ノ共済制度ノ整備ト云フコトニ伴ッテ、災害ノ防除ト云フコトニハ、勿論出來得ル限りノ努力ヲ拂ヒタイト、斯ウ云フ考デアリマス

○子爵本多忠晃君 冷害ノ共済金額デゴザイマスガ、ソレガ將來矢張り今迄通りデハ面白クナイ、二十五圓デヤ矢張りウマク行カナイト云フコトノアツタ場合ニハ、早速モツト増加ナサルト云フヤウナ御考デアラッシヤイマスカ

○政府委員(石井英之助君) 只今ノ所デハ此ノ二十五圓ト云フモノヲ、直グ何等カノ事情ガ起ツタ場合ニハ増加ラシヨウト云フ所迄積極的ニ用意ハ致シテ居リマセヌ

○子爵松平保男君 此ノ條文ノコトニ付テデアリマスガ、私、法律ノ文案ニ付テハ甚ダ暗イノデアリマシテ、自分ノ參考トシテ一ツ伺ヒタイト思フノデアリマスガ、此ノ農業保險法案第一條ノ第二項ノ所ニ、詰リ行政官廳ガ市ノ農會又ハ町村ノ農會ニ共済事業ヲ行フベキコトヲ命ズルコトヲ得ルト云フコトガ第一條ニアルガ、命ゼラレタノデアルカラ、命令デアルカラシテ、其ノ受ケタ方ノ者ハ是ハ當然其ノ命令ヲ實行シナ

ケレバナライモノデヤナイカト思フ、ソレガ此處ニナルト云フト、詰リ申請ヲスルト云フコトニナツテ居ル、其ノ申請ヲシナイ場合ニハ、行政官廳ハ命令ノ定ムル所ニ依ッテ、共済事業ノ開始ニ關シ必要ナル處分ヲスルト云フコトニナツテ、何ダカ命令ダカラシテ申請ナドシナイデモ當然ヤラナケレバナラスノデ、ソレヲヤラナケレバソレニ對シテ處分ナリ、罰則ナリト云フコトヲヤルト云フヤウナ意味ニナルノデヤナイカト思フノデスガ、ソレハドウ云フ意味ナノデスカ

○政府委員(石井英之助君) 此ノ第一項ノ命ズルト云フノハ、自發的ニソレヲ爲スベキコトヲ命ズル、命ズルト云フ以上ニハ出ルコトガ出來ナイト云フノガ法制上ノ約束ノヤウナモノニナツテ居ル譯デアリマス、此ノ第一項ノ命令ヲ受ケタ場合ニ、市ノ農會又ハ町村農會ト云フモノハ、其ノ命令ニ從ッテ所要ノ手續ヲ執ルベキ義務ヲソコニ生ズルト云フコトニナル譯デアリマス、詰リ共済規程ヲ作りマシテ、サウシテ行政官廳ノ認可ヲ受ケル、サウシテ自ラ之ヲ開始スルト云フ手續ヲ執ラナケレバナラス義務ヲ、此ノ命令ニ依ッテ背負フ譯デアリマス、其ノ義務ヲ自發的ニ實行ヲシナイ場合ニハ、是ハ此ノ第二項ノ規定ガナケレバ、命令違反ト云フコトハソコニゴザイマスケレドモ、共済事業ノ實行ト云フ效果ヲ現實ニ現サシメル方法ト云フモノハナイ譯デアリマス、一項ダケデアリマシテハ……ソコデ此ノ二項ヲ置キマシテ、行政官廳ガ總會デ決定ヲ致シマスコトニ代ヘテ共済規程ヲ作ッテ何日カラ開始スベシト云フコトヲハツキリト告示致スコトニナリマス、是

ハソコニ現實問題トシテ、共済事業ノ開始ト云フ實際ノ效果ヲ發生スル效力ヲ持ツコトニナルノデアリマス、之ヲ形成的ノ效果ト云フ風ニ申シテ居リマスケレドモ、現實ニ其ノ共済事業ノ開始ト云フ現實效果ヲ發生セシメル爲ニハ第二項ガナケレバナライ、一項ダケデアラハ命令違反ト云フコトガアルダケデアツテ、ソレヲ開始サセルト云フ所迄ハ行ケナイト云フノガ法制上ノ建前ニ相成ッテ居ル譯デアリマス

○委員長(伯爵黒木三次君) チョット松平君ニ申上ゲマス、只今本會議ニ於キマシテ戰時刑事特別法案ノ採決ガ行ハレルサウデゴザイマシテ、人員其ノ他ノ關係デドウゾ此ノ會ヲ一時休シデ貰ヒタイ、斯様ヲ要求ガゴザイマシタカラ、一時休シデ其ノ後デドウゾ質疑ヲ御履行願ヒタイと思ヒマス、ドウゾ皆サン本會議ニオイデラ願ヒタイト存ジマス、デハ一時休憩致シマシテ三時ヨリ開會致シマス

午後二時四十二分休憩

午後三時八分開會

○委員長(伯爵黒木三次君) ソレデハ是ヨリ委員會ヲ再會致シマス、松平子爵、午前ニ引續イテ御質疑ヲ御願ヒ致シマス

○子爵松平保男君 大體先程ノ御答辯デ了承致シマシタカラ、私ノ質疑ハ打切りマス

○委員長(伯爵黒木三次君) 他ニ御質疑ガゴザイマスレバドウゾ此ノ際……

○塩田團平君 甚ダ幼稚ナコトヲ御伺ヒスルヤウデアリマスガ、御配付戴キマシタ資料ノ保險料率ノ計算ノコトデゴザイマスガ、保險料ノ方デチョット了解致シ兼ねマスノデ、ソレヲ一ツ御伺ヒ致シタイと思ヒマス、

ソレカラ此ノ保險料率ハ各聯合會毎ニ御計算ニナルノデアリマス、或ハ各府縣組合毎ニ御計算ニナル趣意ナノデゴザイマス、ソレモ一ツ御伺ヒシタイと思ヒマス、ソレカラモウ一ツハ町村ノ規約ノ申ニ例示サレテ居リマス段當最高救済金交付額ハ、ソコニ標準ガ示サレテ居リマス額ノ何倍カニスルコトガ出來ルヤウニ例示サレテ居ルヤウデゴザイマスガ、今ノ段當水稻ノ場合デ、四十五圓ト云フ額ニナリマスレバ此ノ取扱方ハ改正サレルノデアリマセウカ、或ハ指定サレマシタ四十五圓ヲ超過シタ部分ニ付キマシテハ、町村ノ農會自身ガ其ノ「リス」ヲ負擔スルコトデ、保險ニ付シ得ルモノハ限度ダケニ止メルト云フ御趣意ナノデゴザイマス、之ヲ一ツ御伺ヒシタイと思ヒマス

○政府委員(石井英之助君) 第一ニ保險料率ハドウ云フ地域ニ依ッテ定メラルト云フ御尋デアリマスガ、是ハ原則トシテ町村單位ニ保險料率ヲ定メルト云フコトニ致シタイト考ヘルノデアリマス、現在デモ町村單位ニ此ノ料率ヲ定メルト云フコトデ進ンデ居ルノデアリマス、但シ實際問題トシテハ、ナカノ「町村別」迄決メルト云フコトガ困難ナ場合ガ多イモノデアリマスカラ、郡單位デ料率ヲ決メルト云フコトヲ實際問題トシテハ相當ニヤツテ居ルノデアリマス、デアリマスカラ少クとも郡單位ニ決メ、ソレカラ原則トシテハ出來得ル限り町村別ニ決メ、ルヤウニシタイ、斯ウ云フ考デアリマスガ、從來ハ水稻ニ付テ申シマスレバ、段當二十圓ト云フノガ保險金額ニナツテ居リマシタカラ、ソレヲ上ゲルト云フコトモ考

慮シテ居リマシタガ、今回ハ國庫負擔ガ附イテ四十五圓ト云フコトニ引上ゲルノデアリマス、最高四十五圓ト云フコトニシテ定メテ参リタイ、斯様ニ思ッテ居リマス、ソレカラ被害率ノ算定ニ付テノ第一ノ御尋デアリマスガ、是非ハ非常ニ技術的ニ細カクナリマスノデ、場合ニ依リマシタラ説明員カラ申上ゲタイト考ヘマスガ、一應申上ゲマス

ト此處ニゴザイマスル通り、異常純保險料率ノ計算ヲ致シマス場合ニハ、異常被害率カラ標準被害率ヲ控除シタ差ト云フモノヲ問題ニスル、サウシテ昭和元年カラ昭和十五年迄ノ異常被害率カラ標準被害率ヲ控除シタ差ダケヲ問題ニ致シマシテ、サウシテ各地方別ノ異常被害率ト云フモノヲ算定致シテ居ルノデアリマス

○塩田團平君 此ノ配付戴イタ資料ノ二ト云フコトガドウ云フコトニナッテ居ルカ、ソレガチヨット了解出來マセスガ、一ト二トアリマスネ

○委員長(伯爵黒木三次君) 塩田君ニ申上ゲマス、説明員カラ申上ゲルコトニ致シマス

○説明員(平田操君) ソレデハ私代リマシテ申上ゲマス、二ノ所ニ書イテアリマスノハ、只今御説明ガアリマシタヤウニ、昭和元年カラ昭和十五年迄ノ異常ノ被害率カラ標準被害率ヲ減ジマシタ差ヲ、其ノ年次ノ配列順ニ見テ参リマス、詰リ昭和元年ノ數字カラ標準被害率ヲ引キマシタ残リヲ、其ノ儘昭和元年ノ残リトシテ見テ参リマス、同様ノコトヲ昭和二年以降昭和十五年迄考ヘマス、其ノ十五ノ數字ヲ其ノ配列ノ順ニ於テ考ヘテ参リマシテ、サウシテ何處デモ宜シイノデアリマスガ、相隣ル五年間ヲ切ツテ考ヘマス、其ノ五年間ノ平均値ノ一

番大キイヤウナモノヲ最初ニ採リ出シテ参リマス、サウシマス、其處ニ五箇ノ數字ガ出テ來ル譯デアリマスガ、其ノ五箇ノ數字ヲ其ノ配列ノ儘ニ考ヘマセヌデ、其ノ五箇ノ數字ノ中デ大キイモノカラシテ順次ニ之ヲ配列シ直シテ考ヘマス、サウ考ヘマス、其ノ五箇ノ平均値トシテ最大ノモノガ先ヅ採ラレマシテ、其ノ中ニ於テハ更ニ大キサノ順ニ數字ガ並べ換ヘラレルト云フコトニナル譯デアリマス、サウシマス、十五年間ノ資料ノ中デ五年ノ資料ヲ除キマスカラ、残り十年ガ尙殘ッテ居リマス、ソレヲ矢張り同ジヤウニ相隣ル五年間ノ平均値ノ一番大キイヤウナモノヲ採リ出シマシテ、其ノ中ノ配列ヲ矢張り大キサノ順ニ並べ換ヘルノデアリマス

ソレガ詰リ第二期ノ五年間、残りハ五ツダケニナリマスカラシテ、ソレヲ又率ノ大キサノ順ニ並べ換ヘマシテ、ソレヲ第三期ノ五年間ノ率ト致シマス、サウシマス、結局其ノ十五箇ノ數字ハ元ノ數字其ノ儘デアリマスガ、唯其ノ配列ノ順序ガ變ッテ出テ参ルデアリマス、デ何故ニサウ云フ配列ヲスルカト申シマス、詰リ此ノ十五年間ノ被害ノ狀況ガ、其ノ通りニ起ッテ呉レマスレバ配列ヲ換ヘル必要ガナイノデアリマスケレドモ、將來ノ起リ方ト云フモノハ豫測ガ出來マセヌ、ソレデアリマスカラ大體過去ニ起リマシタ十五年間ノ被害程度ノモノガ、相當ノ程度ニ於テ惡イ條件ノ下ニ起キタト云フ假定ヲソコニ入レル譯デアリマス、其ノ惡イ條件ノ見方ヲサウ云フ風ナ見方ニ致シタノデアリマシテ、サウ云フ順序ニ從ッテ將來十五年間ノ被害ガ起キタモノト考ヘマシテ、ソレノ支拂ヲヤッテ行ク爲ニ必要ナ料

率ヲ決定スルト云フ考ヘ方デアリマス、其ノ計算ノ方法ト致シマシテハ、第三ニ書イテアリマスヤウニ豫定利率ヲ年三分六厘五毛ト考ヘマシテ、半年賦等額償還ノ償還額ヲ計算スル計算方法ヲ採リマシテ、ソレヲ以テ出テ参リマシタ數字ヲ異常ノ純保險料ト致スノデアリマス

○塩田團平君 サウ致シマス、此ノ保險事業ノ調査ト云フモノハ、十五年經チマセヌ内ニ異常ノ災害ガ出テ参リマス、相當動搖サセラレルヤウナコトニナルノデゴザイマスカ

○説明員(平田操君) 只今申上ゲマシタ「タ」イプ「ガ」此處デ豫想致シマシタ或程度惡條件ノ下ニ起キタ場合ノ豫想デアリマシテ、假ニソレガ尙惡イ條件ノ下ニ起キルト云フコトガアリマスレバ、只今御話ノゴザイマシタヤウニ、事業開始當初ニ於テ可ナリナ赤字ヲ生ズルカモ知レナイノデアリマスガ、是ハ大體過去ノ被害ト發生狀況ヲ見マス、云フト、或程度ノ豫想ヲ致シマシテ、大體大丈夫デアラウト云フ見極メヲ付ケテ居リマス、ソレカラ今一ツハ、此ノ利率ハ大體五年單位毎ニ改訂ヲヤッテ行キタイト云フ考ヲ持ッテ居リマシテ、丁度十五年デアリマスカラシテ三期ノ期間ヲ經ルコトニナリマス、其ノ間ニ少クトモ二回ノ利率改訂ヲヤリ得ルコトニナッテ居リマス、其ノ二回ノ利率改訂ノ際ニ、過去ニ起キマシタ赤字ヲ補填シ得ルヤウナ考ヘ方ヲ入レマシテ、改訂ヲヤル肚デ居ルノデアリマスカラシテ、十五年ヲ單位ニ見テ参リマス、大體收支ノ均衡ハ採リ得ルト云フ確信ヲ持ッテ居ルノデアリマス

○委員長(伯爵黒木三次君) 三井君ニ申上ゲマスガ、食糧管理局長官ガ参ラレマシタカラ、先程ノ御質問ニ御答ヲ致ササウデアリマス

○政府委員(湯河元威君) 私先程コチラニ参ッテ居リマセヌデ御答ヘ出來マセヌデシタガ、御尋ノゴザイマシタ検査手數料ノ還付ノ點デゴザイマス、實ハ昨年ノ十二月二十五日ヨリ國營検査ニ検査組織ガ變リマシテ、國營検査ノ組織ト致シマシテハ、手數料ヲ免除スルト云フコトニナリマシタノデ、我々ト致シマシテ御尋ノヤウナ地方ニ、問題ガ起リハセヌカト云フコトヲ非常ニ懸念致シテ居リマシテ、當局ト致シマシテハ、ソレ迄ニ府縣ガ收入シタ手數料ハ、是ハ正當ニ收入シタモノデアリシ、返ス必要ハナイト云フ考ヘデ居リマシタノデアリマス、ソレデ地方カラ色々御話ガゴザイマシテ、ソレデハ折角急イデ出シタ生産者ナドハ手數料ヲ拂ッテ、是カラユックリ出ス人達ガ拂ハナクナルト云フコトハ、却テ不公平デハナイカト云フヤウナ御議論モゴザイマシタ、色々地方ノ當局トモ相談致シマシタガ、大體米ノ代金ハ縣販聯ニ於キマシテ計算ヲ「プー」シテ居ルサウデゴザイマシテ、其ノヤリ方ニ依リマスレバ、其ノ手數料ヲ拂ッタ人ト拂ハナイ人ト、大體兩方押並ベテノ計算ヲ付ケルト云フコトモ可能デアルト云フコトヲ聞イデ居リマスルシ、又地方ニ依リマスル、サウ云フコトヲシナイデモ、前ニ出シタ人ハ手數料ヲ拂ッテ居テ、アトノ人ハ拂ハナクテモ何モ別ニ問題ナク、ソレハサウ云フモノノダと思ッテ居ル地方モアルサウデアリマス、私達ト致シマシテハ、地方ニ對シマシテ手數料ヲ十二月二十五日ヨリ

取ラナクナツタノデアル、ソレ以前ノモノハ理由ガアツテ取ツタ譯デアルカラ、ソレヲ敢テ返ス必要ハナイ、斯ウ云フ風ニ一應指導シテ居リマス、ソレデ只今迄ノ處一部サウ云フコトヲ未ダニ申シテ居ラレル地方モアルヤウデゴザイマスガ、大體全國のニ見渡シマシテ、其ノ問題ハ我々ノ考ノヤウニ大體收マルモノデヤナイカ、斯ウ思フテ居リマス、併シ是ハ只今非常ニ米ノ供出ヲ督勵シテ、是ハ生産者、地主ノ人達ニ取リマシテモ相當ノ重荷デゴザイマス、又其ノ供出ノ途中ニ於キマシテ、或ハ其ノコトガ再燃シナイトモ限ラヌト思フテ居リマス、此ノ點ニ付キマシテハ、地方廳ニ對シマシテ十分連絡ヲ取リマシテ注意致シテ参リタイト、斯ウ考ヘテ居リマス

○三井清一郎君 能ク分リマシタ、分リマシタガ、私ノ聞イタ所デハ、政府委員ノ御話ノヤウニ若干不平等言ウテ居ル者ガアル、是ガ今折角供出ヲ御勸メナツテ居ルコトニ影響シハセヌカト云フ心配ガアツタ、ソレガナケレバ結構ダト思ヒマス、宜シウゴザイマス

○石黒忠篤君 松平委員カラ法文ニ付テノ御質問ガアリマシタカラ、私モ法文ニ付テ伺ヒタイト存ジマスガ、大臣ノ御説明ニ依リマス、今回ノ農業保險法ノ改正ノ一ツノ目的デアリマス第一條ノ改正、即チ市町村農會ニ農業保險ノ目的タル共濟事業ヲ行フコトヲ命ズルコトヲ得ト云フ改正デアリマスガ、ソレハ全國ノ市町村農會ヲシテ一般ニ農業保險事業ヲヤラセルト云フコトニ致シタイト云フ御説明デアツタヤウニ思フ、サウダト致スト云フト一條ノ只今ノ改正ト云フモノハ、命ズルコトヲ得ト云フノデア

リマスガ、總テノ市町村農會、ソレハ今農業保險ノ目的タル共濟事業ヲヤツテ居ラナイモノニ付テハ、全部御命ジニナルノデアリマスカドウデアリマスカ、ソコノ所ヲ伺ヒタイ

○政府委員(石井英之助君) 現在加入ヲシテ居リマセヌ市町村農會ハ、全部之ヲ加入セシメルヤウニ措置致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ際申上ガマスルト、現在此ノ農業保險ノ對象ニナル共濟事業ヲ實行シテ居リマス市町村農會ノ數ト云フモノハ、全體ノ市町村農會ノ數ニ對シマシテ、大約八十八「パーセント」ニナツテ居ルノデアリマス、其ノ殘餘ノモノガ未加入ト云フコトニナツテ居リマス、此ノ未加入ノ分ニ付テハ先程申上ガマシタヤウニ、指導上ノ措置トシテ勸奨ヲ致シテ、出來ルダケ加入ラセシメル、ドウシテモイケマセヌモノニ付テハ、此ノ規定ニ依ツテ命令ヲ出ス段取りニ考ヘテ居ルノデアリマス

○石黒忠篤君 農業保險法ハ、極メテ國民ノ行爲ノ自由ヲ尊重シタ時代ニ制定セラレマシタモノデアリマスルカラ、規定ノヤリ方ガ其ノ趣旨デ他ノ部分モ出來テ居ルノデアリマス、從ヒマシテ今回ノ改正モ其ノ形ニ合ハサレマシテ、一條ノ改正ノヤウナ、松平委員モ御質問ヲナサリマシタヤウナ廻リ諄リ規定ニナツテ居ルヤウニ思フ、是ハ已ムヲ得ナイト思フノデスガ、今回ノ議會ニ農業團體法ガ御提案ニナルノデアリマス、只今衆議院デ審議ヲサレテ居ルヤウデアリマシテ、私モ委員會ノ議事録等ヲ拜見シテ居ルノデアリマス、又法案モ拜見シテ居リマス、何レハ市町村農會ト云フモノハ新團體法ニ移行クコトヲ思フノデアリマス、

サウナリマスルト云フト新團體法ニ於キマシテハ、加入團體ノヤリマス仕事ニ付テ、ヤルベキ事トヤリ得ル事トノ二ツニ分レテ居ルヤウデアリマスガ、其ノ場合ニ於テハ必ズヤル事項ニ、此ノ農業保險ノ目的タル共濟事業ト云フモノハ入ッテ居ルノデアリマスカ、如何デアリマスカ、ソコヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(石井英之助君) 只今御尋ノ點ニ付テハ、是ハ農業保險ノ對象トナル共濟事業ト云フモノハ、ヤルベキ仕事ノ中ニ入レルベキモノト考ヘテ居ルノデアリマス、勿論團體法ノ關係ニ於キマシテモ、農業保險法ニ強制ノ規定迄置イテゴザイマスカラ、農業團體法ノ運用ニ於キマシテモ、當然ニ爲スベキ事業トシテ取扱フモノト考ヘテ居ルノデアリマス

○石黒忠篤君 農政局長ガ考ヘテ居ルト云フヤウナコトデナク、法規ハサウ云フ風ニナツテ居ルカドウカト云フ私ハ質問ナンデス

○政府委員(石井英之助君) 法規ノ上ニ於キマシテハ、行フコトヲ得ル事業ノ中ニ爲シ得ル事業ト、行フ事業トニ御話ノ通り分レテ居リマスガ、此ノ共濟事業ハ行フ事業ノ中ニ入ッテ居ルモノト解釋シテ居ルノデアリマス

○石黒忠篤君 了解致シマシタ

○男爵坊城俊賢君 甚ダ漠然タルコトヲ御尋ネ申上グルノデスガ、只今農政局長ノ御話ニ依リマス、現在迄八十「パーセント」ノ市町村ガ入ッテ居ルト云フ御話デゴザイマシテ、此ノ農業保險ト云フコトハ、非常ニ結構ダト思フノデアリマスガ、又此ノ戰時下ノ共濟ヲスルノニ極メテ必要ナ法律デア

ルカラ、此ノ改正ガ行ハレタモノダト思フノデアリマスガ、中ニハ相當オ付合ヒ的ニ考ヘテ居ル所モナイデモナイカト云フヤウナ、一應疑ヲ持ツノデアリマスガ、其ノ點ヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○政府委員(石井英之助君) 現在入ッテ居リマスルモノニ付テ、オ付合ヒ的ニ……入ッテ居ルト云フ必要ハナイガ、マア……入ッテ居ルト云フヤウナモノハ、私共ハナイト考ヘテ居ルノデアリマス、唯被害ノ程度ガ比較的薄イ所デハ入ルト云フコトニ付テソレ程ノ熱意ヲナカ……持チ難イト云フ所ハアルカト思ヒマスルケレドモ、現實入ッテ居リマスルモノニ付テ、マア付合ヒダカラ入ルト云フヤウナモノハ現在ノ中ニハナイト思ヒマス

○男爵坊城俊賢君 私少シ言葉ガ足りマセヌノデ……將來デスネ、今度強制のニナル場合、例ヘバ東北ノヤウナ所デ、冷害ノ共濟事業ガアツテ、尙保險ノ方ニモ入ラナケレバナラス、保險ノ掛金ヲシナケレバナラヌシ、共濟ノ方ノ關係モアルト云フ所デハ、或ハオ付合ヒ的ニナルト云フヤウナ感情ガアリハセヌカト、其ノ點ヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○政府委員(石井英之助君) 東北ノ地方ニ於キマシテモ、普通ノ農業保險ノ對象ニナルヤウナ災害ハ勿論アルノデアリマス、唯ソレガ、冷害ト云フ非常ニ顯著ナモノガ一方ニゴザイマスルノデ、普通ノ保險事故ノ對象ニナツテ居ル被害ト云フモノガ、ソレニ較ベテ低ク考ヘラレテ居ルト云フコトハ確カニアラウト思ヒマス、併シナガラ一方ニ、勿論農業保險ノ對象タル事故ト云フモノモアルノデアリマスカラ、ソレニ付テノ必要ヲ

感ジテ、之ニ參加ヲスルト云フコトハ、當然サウ云フ風ニ動イテ參ルモノト我々ハ思ッテ居ルノデアリマス、唯兩方ノ共濟事業ニ入ル、一方ノ保險ニ入ルト云フ關係ガゴザイマスカラ、其ノ間ノ調整ト云フモノハ、冷害ノ顯著ナル地帯ニ於テハ、是ハ考ヘナケレバナラス、是ハ運用上、其ノ間ノ調整措置ハ考ヘテ參ラナケレバナラスノデヤナイカト斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○男爵坊城俊賢君 モウ一點御尋ネ申上ゲタイノデアリマスガ、是ハ災害ト云フノハ、氣象上ノ災害ト云フコトデナクテモ、何カ一定ノ植物病ト云フヤウナコトガ、此ノズツト終ヒノ方ニ書イテアル、附録ト云フ處ガアリマス、ソコノ三百六十八頁ノ第一行目ニ「水稻デハ風水害、旱害、電害及一定ノ植物病」ト云フコトニナツテ居ル、是ガチヨツト分リマセヌ、

○政府委員(石井英之助君) 是ハ農業保險法ノ施行令ノ二條ニアルノデアリマスガ、此處ニ「水稻ニ在リテハ風水害、旱害、電害」ソレカラ「風雨ヲ誘因トスル白葉枯病、旱魃ヲ誘因トスル胡麻葉枯病及旱魃ニ起因スル旱青立病」ト云フモノガ御尋ノモノニ該當スルノデアリマス、是等ハ何レモ其ノ災害ト不可分のニ發生スルモノデアリマスカラ、之ヲ對象トスルコトニ取扱ッテ居ルノデアリマス

○男爵坊城俊賢君 分リマシタ

○三井清一郎君 極ク簡單ニ伺ヒマス、此ノ保險ノ對象トナル中ニ水稻ノ、水田ノ災害ニ付キマシテ、小作料ヲ取レナクナルモノト扱ッテ、共濟組合法ヲ公布スルト云フ意味ノコトデアアルノデスガ、是ハ其ノ親作

ニ、所謂地主ニ支拂フノデ、小作人ニハ拂ハヌト云フ意味ハ、是ニハ含ンデ居ナイノダラウト思ヒマスガ、ドウデスカ、是ハハッキリシテ居ナイ、單ニ小作料トアリマスカラ、小作料トスルト地主ガ取ルノデ、其ノ共濟ヲ受ケルノハ、私ハサウ云フ場合ニハ小作人ガ寧ろ苦シイノデハナイカ、斯ウ感ジマスルガ、ソレハ適當ニ其ノ狀態ヲ調査シテ、兩方ニ共濟金ヲ呉レルト、斯ウ云フ意味ナラ結構ダト思ヒマス、サウ云フ意味デセウト思ヒマスガ、ドウデセウ

○政府委員(石井英之助君) 御尋ノ點ノ、小作地ノ收穫物ニ付キマシテハ、小作料ノ保險ト云フモノト、ソレカラソレ以外ノ……ソレ以外ト申シマスガ、通常ノ農作物ノ保險ト云フモノト二種類ニナツテ居ルノデアリマス、此處ニアリマスル小作料保險ト云フモノハ、小作料ノ保險ナンデアリマス、デアリマスカラ、ソコデ災害ガ起リマシタ場合ニハ、地主ノ方ニハ小作料ノ保險ガ行キ、ソレカラ小作人ノ方ニハ農産物ノ災害ニ對スル保險ガ行クト、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマス、デ、段當リ四十五圓ノ保險金額ト云フコトニナツテ居リマスガ、小作料ノ保險金額ハ十圓、ソレカラ一方ガ三十五圓、斯ウ云フ風ニ決メルノデアリマス、ソレハ應ジタ共濟金ガ出ル、斯ウ云フコトニ相成ル譯デアリマス、デスカラ御趣旨ノ通りニ現制度デサウナツテ居ルノデアリマス

○松本學君 松平子爵ノ御尋ノコトト關聯シテ居リマスガ、此ノ行政官廳ガ必要ト認メタ時ニハ命令ヲ以テ市農會又ハ町村農會ニ對シテ共濟事業ヲ行ハセル、今御話ニ依ルト約八割程既ニモウ出來テ居ルノデア

リマスルガ、残りノ二割ニ對シテ一ツノ強制ノヤウニナリマスガ、殊ニ五十六條ノ規定ニ依ッテ保險料及ビ共濟掛金ノ一部ヲ國庫ガ負擔スルト云フヤウナ規定ガ出來テ居リマスルガ、特ニ命令ト云フヤウナ強權ヲ用ヒナイデモ自然アト一割ノ市町村農會ニ於テ此ノ仕事ヲ始メルト云フ風ナ形勢ニハナラヌモノデアリマスガ、特ニ此ノ命令ヲシナケレバナラスト云フノハドウ云フ處ニ理由ガアリマスルカ

○政府委員(石井英之助君) 現在ノ加入數ハ約八十八「パーセント」デアリマスルカラ、残りハ一割二分程度ニナツテ居ルノデアリマス、是等ニ付キマシテハ先程モ申上ゲマシタヤウニ、出來ルダケ指導上ノ措置デ、全部參加スルヤウニシタイト思ッテ居リマス、之ニ依リマシテ大部分實效ヲ擧ゲルコトガ出來ルデアラウト我々モ思ッテ居ルノデアリマスルガ、中ニハドウシテモ命令ト云フ處迄行カナケレバ實ガ擧ラナイト云フモノガアリ得ル、ソレニ對シテハ萬全ノ措置ヲ執ッテ置クト云フ意味ニ於テ此ノ規定ヲ設ケテ居ルノデアリマス、是ハ從來指導ノ任ニ當ッテ居リマス農會關係者トシテモ、斯ウ云フ規定ヲ設ケルコトガ、全市町村農會ニ參加ノ態勢ヲ整ヘル爲ニハ必要デアルト云フ要望モ出テ居ルノデアリマス、デソレ等ノ事情ヲ考ヘマシテ、法律上矢張りサウ云フ途ダケハ拓イテ置ク方が必要デアルト云フ考カラ、斯ウ云フモノヲ設ケタ譯デアリマス

○松本學君 サウスルトは傳家ノ寶刀ト云フヤウナ意味ノモノニナリマスガ
○政府委員(石井英之助君) 御話ノ通りデアリマス
○松本學君 ソレカラモウ一ツ、其ノ次ノ

項ノ命令ノ定ムル所ニ依リ共濟事業ノ開始ニ關シ、必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得」ト、此ノ手續ハドウ云フ風ナコトニナリマセウカ
○政府委員(石井英之助君) 是ハ行政官廳ニ於テ共濟規程ヲ作成シテ、サウシテ其ノ共濟事業ヲ開始スル日ヲ、當該ノ市町村農會ニ對シテ指定ヲ致シマシテ、サウシテ之ヲ一般ノ告示ヲスルト、斯ウ云フ手續ヲ執ルコトニ致シテ居ルノデアリマス、其定ノ所ノ手續ヲ執ルコトニ依リマシテ、先程申上ゲマシタヤウニ、實際的ニ共濟事業開始ノ效果ヲ發生スルト、斯ウ云フ建前ニナツテ居リマス

○子爵松平保男君 只今ノ松本サンニ對スル御話ニ依ッテ大體了承シタノデアリマスガ、今段々御話モ出マシタノデ、更ニモウ一步進ンデ伺ヒタイト思フノデスガ、サウ致シマスと云フト、最後ノ所ハドウ云フコトニナルノデゴザイマスガ、是ハドウシテモ入ラス……ソレニ從ハナイト云フコトハ是ハ罰則ニナルノデスカ

○政府委員(石井英之助君) 最後ノ所ハ、モウ是デ共濟事業ヲ開始スルコトニナリマスカラ、イヤ應ナシニ共濟事業ノ開始ト云フコトガ進行スル譯デアリマス、アトハ其ノ保險料ノ支拂ト云フ義務ガモウ發生シテ參リマス、ソレカラ市町村農會トシテハ、組合員カラ共濟掛金ヲ徵收スルト云フ義務ガソコニ起ッテ參リマス、ソレハ強制徵收ノ方法モゴザイマセウシ致シマスルカラ、現在アル制度ニ依ッテ共濟掛金ノ取立、ソレカラ保險料ノ支拂ト云フ義務ノ履行ヲ迫ッテ參ルト、斯ウ云フコトニナル譯デアリマス
○子爵松平保男君 サウ致シマスと云フト組合ニ入レバ共濟事業ノ恩典ヲ受ケルコト

ハ當然ナンデアリマスガ、ソレデモ自分ハ
共濟事業ノ恩典ヲ受ケナクテモ宜イカラ矢
張り入ラヌト云フコトニツタ場合ニ、ソレ
ヲ矢張り何カ、入ラヌ者ハドウ云フ罰則ヲ
ヤルト云フ所迄ハ行カナイノデスカ

○政府委員(石井英之助君) 町村農會ニ對
スル罰則ト云フ問題ハゴザイマセヌ、アト
ハ行政上ノ措置ニ依リマシテ、或ハ町村農
會長ノ解職ヲスルトカ、其ノ他ノ行政上ノ
監督措置ニ依リマシテ其ノ實效ヲ期スルト
云フコトニ相成ル譯デアリマス

○委員長(伯爵黒木三次君) 本日ハ此ノ程
度ニ於テ質疑ヲ止メマシテ、明後日ノ午前
十時ヨリ委員會ヲ開會致シタイト思ヒマス、
デハ是ヲ以テ散會致シマス

午後三時四十八分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵黒木 三次君
副委員長 男爵稻田 昌植君
委員

公爵一條 實孝君
公爵山縣 有道君
侯爵池田 宣政君
子爵松平 保男君
子爵土岐 章君
子爵本多 忠晃君
入江 貫一君
三井清一郎君
男爵三須 精一君
男爵坊城 俊賢君
男爵西 西乙君
松本 學君
塩田 團平君
米原 章三君
山上 岩二君
石黒 忠篤君

政府委員

農林省農政局長 石井英之助君
食糧管理局長官 湯河 元威君
説明員

農林技師 平田 操君

昭和十八年二月十七日印刷

昭和十八年二月十八日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局